

食に親しみ、学ぶ「園児の食育体験教室」

事業実施主体:うきは市(福岡県)

- うきは市では、第3次食育推進計画(平成29年度～令和元年度)において、「食育を市民の間に広げること」を基本目標に、市内9か所の保育所(園)・幼稚園・認定子ども園に対し、食育体験教室や毎日の給食を通して「食と心身の健康」や「食文化および食生活の大切さや楽しさ」等を伝えている。
- その一環として、地元JAや森林組合・農業体験を指導する女性グループ(新鮮ぐみ)と連携し、保育所(園)・幼稚園・認定子ども園の就学前児童を対象に、作物の栽培・収穫・調理・加工などの工程を通じて、幼少期から食に関わる体験を充実させるとともに食への興味や理解を深める機会に繋がるよう展開している。



【取組の内容】

- 農業収穫体験(実施園数:8園 参加者数:218名)
 地元の農場で、ジャガイモ・玉ねぎ・里芋・サツマイモの収穫体験やニンジン・大根・らっきょ・ニンニクの種(苗)植え体験を実施。
 収穫体験前には、JAの講師より野菜や野菜の種の種類についての勉強の時間をとっている。
- 減塩みそ作り体験(実施園数:9園 参加者数:193人)
 地元JAの施設で、大豆、麦、麴菌を混ぜ合わせて手作業で作る味噌作り体験を実施。
- 米粉入りピザ作り体験(実施園数:9園 参加者数:238人)
 地元JAの施設で、地元産の米粉と野菜を使ったピザ作り体験を実施。また、ピザを焼いている時間を使い、施設に隣接する直売所の店内や選果場の見学も実施。
- マイ箸作り体験(実施園数:9園 参加者数:240人)
 地元産の檜と椿油を使い、やすりで削って作るオリジナルのお箸作り体験を各園で実施。



農業収穫体験



米粉入りピザ作り体験



マイ箸作り体験

【取組の成果】

- 目標
 - ①野菜嫌いをなくし、幼い頃から農業に親しみを持ってもらう。
 - ②農業体験した者を増やす。
- 目標値
 農林漁業体験者数 令和元年度889人(前年度比25人増加)

【各園へのアンケート(全9園)】

- ①園全体で食育に対する意識は変わったか?
 変わった…8園 変わらない…1園(元々力をいれています)
- ②子どもたちに、農業に親しみをもってもらえたか?
 思う…8園 農業体験の実施なし…1園
- ③体験を通して、苦手な野菜を食べられるようになったか?
 なった…6園 変わらない…3園

【各園からの感想・意見】

- ①農業体験を通して食べ物に興味をわいてきている。楽しかったという声があった。
- ②手作り味噌を給食で使い、下の子たちからのお礼の言葉があり、年長児も嬉しそうだった。
- ③ピザ作りを通して、野菜が食べられるようになった。家でも作ってみたいという声があった。
- ④お箸をしっかり持とうという気持ちや物を大切に作る心が身についた。

- 成果
 幼少期からの食育体験事業を通して、食への興味や理解を深める機会へ繋がった。